

静岡県及び自社による茶葉の放射能調査結果について

ハラダ製茶株式会社

これまでに発表された静岡県産新茶、およびハラダ製茶関係農場新茶の放射性セシウムの分析結果から、放射性セシウムに関する新茶の安全性についてハラダ製茶の見解をまとめました。

1. 静岡県調査における県内放射性セシウムの測定結果について

県内 17 市町 18 地区で調査した結果、生葉では最大で 138.77Bq/kg、最小で 22Bq/kg 検出されておりますが、暫定規制値（500Bq/kg）を超えたものではありませんでした。

詳細は別紙 1 を参照ください。

2. ハラダ製茶調査による関係圃場の放射性セシウムの検査結果（生葉）

ハラダ製茶農園屋久島： 検出されず

ハラダ製茶農園金谷： 48 Bq/kg

ハラダ製茶農園川根： 53 Bq/kg

湯日第一茶農協： 58 Bq/kg

生葉の暫定規制値は 500 Bq/kg

（参考：野菜類の暫定規制値は 500 Bq/kg）

回収となった他府県では生葉から最大 780 Bq/kg が検出されております。

3. ハラダ製茶調査による関係圃場の飲用茶での放射性セシウム計算値

ハラダ製茶農園屋久島： 検出されず

ハラダ製茶農園金谷： 4.8 Bq/kg

ハラダ製茶農園川根： 5.3 Bq/kg

湯日第一茶農協： 5.8 Bq/kg

飲用茶の暫定規制値は 200 Bq/kg

（参考：飲料水の暫定規制値は 200Bq/kg）

（参考：牛乳・乳製品の暫定規制値は 200 Bq/kg）

飲用茶の抽出方法：製茶した茶葉 10g を 430ml の湯で 90 、 60 秒間浸出（静岡県調査より）

飲用茶での放射性セシウム測定値の計算方法について

静岡県の調査結果から、生葉の測定値と飲用茶の測定値の比率を算出すると、飲用茶の測定値は生葉の測定値の 4～10%の数値になります。

静岡県調査において最も高い生葉の検査結果 138.77Bq/kg に、最も高い比率 10%を掛けた場合でも 13.88Bq/kg となり、暫定規制値を大幅に下回ります。

以上

別紙 1)

静岡県が公表している「茶の放射能測定結果（放射性セシウム）」

(単位：Bq/kg)

採取日	採取場所	放射性セシウム		比率 (飲用茶/生葉)
		茶葉(生葉)	飲用茶	
5月2日	御前崎市	74.4		
	↑	70.2		
	↑	82.9		
	↑	74.7		
5月7日	菊川市	111.0	4.32	4%
5月6日	磐田市		1.93	
5月13日	伊豆市	98.17	8.92	9%
	沼津市	44.23	4.57	10%
	富士市	83.70	3.92	5%
	静岡市葵区	116.61	5.68	5%
	静岡市清水区	138.77	10.91	8%
	牧之原市		6.88	
5月14日	富士宮市	105.37	5.68	5%
	藤枝市	96.11	6.11	6%
	川根本町	61.87	4.29	7%
	掛川市	39.83	3.99	10%
	浜松市	94.62	5.50	6%
	小山町	120.17		
	御殿場市	101.17	5.87	6%
5月16日	小山町		12	
	御前崎市		3.0	
	袋井市	22	1.6	7%
	森町	73	3.4	5%
	最大測定値	138.8	12	
	暫定規制値	500	200	
	÷	3.6	16.7	
暫定規制値に対して最大		約4分の1	約17分の1	

飲用茶：製茶した茶葉 10 グラムを 430ml の湯で 90 、60 秒間浸出した
 飲用茶については、暫定規制値を「飲料水」として準用（厚生労働省見解）
 詳細は、静岡県ホームページを参照願います